

栄養科から こんにちは

栄養科 宮澤誠子



センターの縁の下の力持ち、栄養科は食事や経管栄養剤を配膳し、利用者の健康維持管理に日々努めています。当科は病院職員（管理栄養士、調理師）と委託職員との混合体制です。現在、センターの長期入所者の平均年齢は55歳5ヵ月（令和6年4月1日現在）で、高齢化が進み食事形態も下表のように変遷しています。これからも、ひとりでも多くの利用者が経口からの食事を続けられるよう、チーム医療の一員として様々な課題に取り組み、365日、おいしくて安全安心なお食事を調製、配膳し続けていきます。
（←11月に通園で、保護者向けに調理師が「再加工調理のポイント伝授&試食会」を実施し、好評でした。）

食事形態区分の変化

～平成14年 (2002年)		平成15年度～18年度 (2003年) (2006年)		平成19年～現在 (2007年) (2024年)	
食種	食事の形態	食種	食事の形態	食種	食事の形態
普通食	 普通の形態	普通食	 普通の形態	普通食	 普通の形態
A食	 さいの目きり	A食	 一口大	一口大食	 一口大
AK食	 粗みじん切り	AK食	 きざみ	一口大食 (きざみ)	 きざみ
B食	 みじん切り	B食	 押しつぶせる状態	やわらか食	 押しつぶせる状態
D食	 ミキサー状	D食	 ペースト状	ペースト食	 ペースト状
		M食	 D食を再度ミキサー	ミキサー食	 ペースト食を再度ミキサー

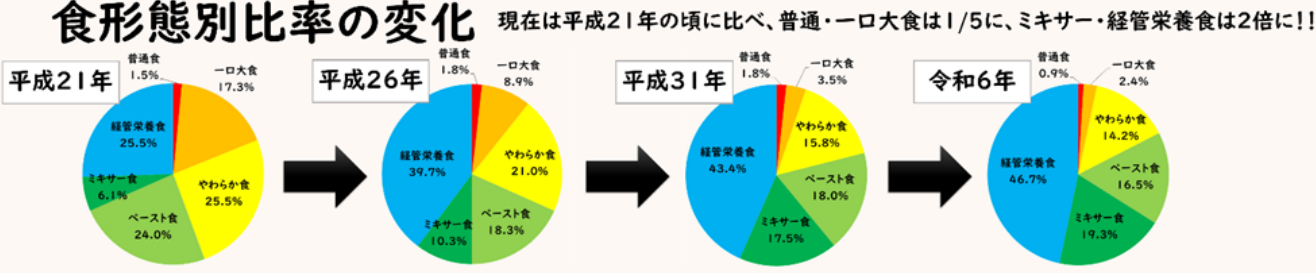
当時の食形態は「A食」「B食」のように記号で表現していました。



食形態やその内容も少しずつ変化し、なかでも「B食」の内容が“みじん切り”から“押しつぶし状態”へと大きく変わりました。さらに利用者の摂食嚥下機能の低下に伴い、「D食」をミキサーにかけた粒のない形態の「M食」が登場しました。

これまでの「A食」～「D食」は、職員間で食形態のイメージと実際に違いがあったため、平成19年度から、食種名を「普通食」「一口大食」のように食形態名で表示するようになりました。

食形態別比率の変化



ひだまり

都立府中療育センター新聞 第564号 発行日 令和6年12月31日

クリスマス特集

12月12日、一足先に3D病棟でクリスマス会を行いました。3D病棟 山下佳代
利用者は、サンタ帽をかぶったりトナカイのカチューシャをつけたりして、クリスマス気分で参加しました。
招待観劇ではイングリッシュハンドベル演奏のノイさんに来ていただきました。演奏前の誕生者のお祝いと一緒に盛り上げてくれました。その後、利用者にハンドベルを持ってもらい、ノイさんの伴奏に合わせて一緒に「ジングルベル」を演奏しました。折り重なるハーモニーがとても素敵な音色で会場内に響きわたっていました。



ノイさんにバトンタッチをしていざハンドベルの世界へ。利用者もハンドベルに合わせてマラカスや鈴を鳴らし、音に触れながら楽しんで参加していました。普段の活動のハンドベルとは違って、重厚な音に包まれながら心地良い時間が流れていました。
アンコールでは、利用者が大好きな「にじ」を演奏してくれてとても盛り上がりました。



1A病棟 小嶋映子
12月10日（火）、年末お楽しみ会を行いました。今回は招待観劇でマリンバ演奏の宮野下子竜さんをお呼びしました。デイルームを区切ったステージでは搬入された楽器の準備が行われ、集まってきた利用者はこれから行われる事に期待の目を向けていました。演奏会は今月の誕生者のお祝いの演奏と歌から始まりました。誕生者の中には部屋から出られない利用者もいましたが、自分の名前が歌の中に出てくると笑顔が出ていました。そのあとマリンバの紹介、クリスマスや冬にちなんだプログラムで進められました。テンポの良い曲では手に持った鈴を鳴らし、腕や体を動かして生の演奏を楽しんでいました。静かな曲では、息をひそめ繊細な音に耳を傾けていました。利用者だけでなく職員も速く力強いバチさばきに見入っていました。感染症対策で居室から出られない利用者にも、マリンバの音色が響いて笑顔が出ていました。1A病棟では久しぶりの招待観劇を、利用者・職員共に笑顔で楽しみました。

クリスマス特集

2D病棟 福祉職



12月18日(水)にクリスマス会を開催しました。永井さん、三枝さんを招待し、クリスマスコンサートを行いました。ジングルベルやあわてんぼうのサンタクロース、ひいらぎ飾ろうなどのクリスマスソングや、ペチカ、雪山讃歌などの季節の歌、にじや手のひらを太陽になどの、利用者の聴き馴染みのある曲が披露されました。みんなで鈴やタンブリン、マラカスなどの楽器でリズムを合わせて楽しむことができました。数年ぶりに御家族の参加もあり、他病棟から見学者があり、賑やかな会となりました。



HAPPY CHRISTMAS ～通所クリスマス会(12月20日)～

通所 伊東洋行



12月といえば、年末で慌ただしいイメージですが、なぜか誰もが心弾ませる大イベント「クリスマス」の月でもあります。もちろん、今年も通所ではクリスマス会を盛大に開催することができました。今年はクリスマス会のメインに、声楽家・フルート・チェロ・ピアノ演奏者ルナ・ノーヴァのみなさまを迎え、多目的室を素敵な音楽ホールにしてもらい、ちょっと早いクリスマスを満喫しました。ホールに響き渡る迫力ある歌声に

圧倒され、澄んだフルートの音色に身体に響くチェロの音、引き込まれるようなピアノのメロディーに癒され、ホールにいた方全員の陶醉しきった表情を見て、前半は大大大成功！！

後半は恒例のサンタクロースの登場。今年のサンタは利用者の準備ができるまで、登場のステップ??どこで披露したかわかりませんでしたが、ステップの練習をしているところを見てしまいました…。ですが仕事はきっちりと。可愛いトナカイを引き連れ、プレゼント配りに写真撮影にと今年も頑張っていました。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>


3B病棟 福祉職



今年3B病棟クリスマス会はアンサンブルバウムさんを招いての弦楽器四重奏でした。まず12月の誕生者を弦楽器の生演奏にて「ハッピーバースデー」を歌ってお祝いしました。

第2部としてクリスマスコンサートを開始しました。サンタクロースやトナカイの帽子をかぶったり、かわいいサンタの衣装に着替えたりと準備はばっちりです。演奏が始まるとクリスマスソングや冬にちなんだ曲、クラシック等が次々と奏でられました。クリスマスの雰囲気

を味わいながら、鈴やマラカス、手や足でリズムを取り、利用者はそれぞれ音楽を味わっていたようです。普段なかなか離床できない利用者も車椅子に乗り参加することができ、車椅子に乗りが難しい利用者はベッドにて穏やかな表情で参加できていました。全員で行事を楽しむことができて良かったです。また来年も楽しいコンサートを開催したいですね。

通園冬のお楽しみ会 (12月20日)

通園担当

お楽しみ会当日、壁面には子どもたち作のかわいいリースでできた大きなツリーが見守っています。オープニングはめろん組の「カラフルサンタ」です。おてんば娘や眼鏡ボーイズ、なりきり野球選手、と1人1人のアピールポイントを堂々と発表しました。ぶどう組は体操「どうぶつえん」を親子で行いました。大勢の前でも張り切って楽しんだり、緊張して動けなかったりと、いろいろな面を見せてくれました。

ゲーム「○×どっちかな?」では、お題の答えをよく考えて、○と×担当の職員のところまで移動します。喜んだりがっかりしたり親子で楽しみ、サンタメダルをプレゼントをもらいました。チーム内で協力してクリスマスボックスを積み上げていくゲーム「段ボールツムツム」では、積み上がっていく様子にキラキラの瞳、抱えた箱とともにお父さんお母さんの抱っこで体もどんどん高くなるワクワク感。勝負が決

まった瞬間タワーが倒れると、どこからか笑いが起こり、笑いの渦となりました。

サンタさんとトナカイさんの登場には、初めて見て驚くお子さん、興味津々のお子さん。どの子もプレゼントを受け取り満面の笑顔でした。通園からはサンタさんとトナカイさんへのお礼として、手遊び「サンサンサンタさん♪」を

披露しました。

冬のひととき、みんなで楽しく過ごすことができました。



みんなにプレゼントをくれる優しいサンタさん
(院長先生)